

保健体育科（体育）学習指導案 岡山県立岡山一宮高等学校 普通科 1年3・4組 女子 令和2年11月14日（土）第5校時 グラウンド（雨天時体育館） 指導者 教諭 神宝統久		
単元 (題材)	球技 ベースボール型（ソフトボール）	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動の準備、片付け等協力して行動することができる。</li> <li>○めあての達成のために論理的に思考することができる。</li> <li>○技能の上達</li> <li>○他者への声かけやアドバイスができる。</li> <li>○技術向上のために自他の動作を修正することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【関心・意欲・態度】</li> <li>【思考・判断】</li> <li>【技能】</li> <li>【知識・理解】</li> </ul>
指導上 の立場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の実態 本講座は普通科の球技選択者（3・4組女子33名）である。素直で穏やかな生徒が多く、授業態度は誠実であり、意欲的に活動するクラスである。球技選択者であり運動欲求や技術上達への関心は高いが、ソフトボールの経験は浅く、技能や知識は低い。</li> <li>○単元（題材）観 種目の特性から指導内容や活動方法（ケガや事故の防止）に工夫と注意が必要である。ソフトボールの特性を味わうことを第一目標とせず、自身が「できるようになる」（上達）ことや「他者へのアドバイスやサポート」に喜びや楽しさを感じることを主な目標とした。</li> <li>○本題材（単元）で注意・工夫する点や手立て <ul style="list-style-type: none"> <li>① 不注意によるケガの防止のための指導と活動方法</li> <li>② 技術上達のためのポイントを理解させるための工夫</li> <li>③ ポイントを踏まえた上での反復回数の確保</li> </ul> </li> </ul>	
指導と 評価の 計画	<p style="text-align: center;">主な学習活動</p> <p>ソフトボール（3技能）</p> <p>第1・2時 スローイング（投げる）</p> <p>第3・4時 フィールドイング（捕る）</p> <p>第5・6時 バッティング（打つ）</p> <p>第7時 選択学習 [プレーヤー・コーチング]</p> <p>第8時 スキルテスト</p> <p>第9時 ゲーム</p>	<p style="text-align: center;">具体的な評価規準と評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の準備や片付けへの取り組み</li> <li>・活動状況（対話的活動、ケガの防止への配慮を含む）等 【関心・意欲・態度】</li> <li>【思考・判断】</li> <li>・探究カードの記述内容</li> <li>・他者へのアドバイスや質問等の発言内容</li> <li>・まとめの記述内容 等 【思考・判断】</li> <li>【知識・理解】</li> <li>・活動状況 【思考・判断】</li> <li>・スキルテスト 【技能】</li> <li>・探究カードの記述内容</li> <li>・他者へのアドバイスや質問等の発言内容</li> <li>・まとめの記述内容 等 【思考・判断】</li> <li>【知識・理解】</li> </ul>

本時案（第7次）		
目 標	○対話を伴った活動を通じて技術の向上を実感することができる。 【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能】 【知識・理解】 (論理的思考力) (自律的に行動する力) (情報分析活用力) (コミュニケーション力) (垣根を越える力)	
学習活動	指導・支援上の配慮事項	評価規準・方法など
1 整列・ラジオ体操	・既習内容の確認と声かけ。	1 既習内容が実践できている
2 出欠・挨拶		【思考・判断】 【知識・理解】
3 学習のめあてと内容を理解する	・本時のめあてを説明する。 A 既習の知識、経験を踏まえた対話と活動 B 技術ポイントの確認と動作の修正 C 技術向上の実感 ・ A～Cのための具体的な内容の説明と選択種目ごとの活動場所の確保び活動状況の把握。	3 集中して聞くことができる 【関心・意欲・態度】
4 選択した技能と役割の確認  技術ポイントの確認	・オリエンテーション資料により、イメージを持たせる。(第6時) ・活動と対話の重要性を認識させる。 ・ホワイトボードを使用し明確にする。	4 主体的に行動できる 【関心・意欲・態度】 【思考・判断】
5 移動・活動 ・挨拶 ・ポイント①の活動	・技術ポイント①により活動の導入を行い活動を促す。 ・活動状況の確認とできていない生徒への支援。	5 対話を伴った活動ができる 動作の修正ができる 【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能】
6 本時の振り返りとして個人シートの記入	・配布を速やかに行い記入時間を確保する。	6 記入すべき内容の理解 活動における具体的な内容の記入
7 挨拶・片付け	・手洗いの指示。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【知識・理解】